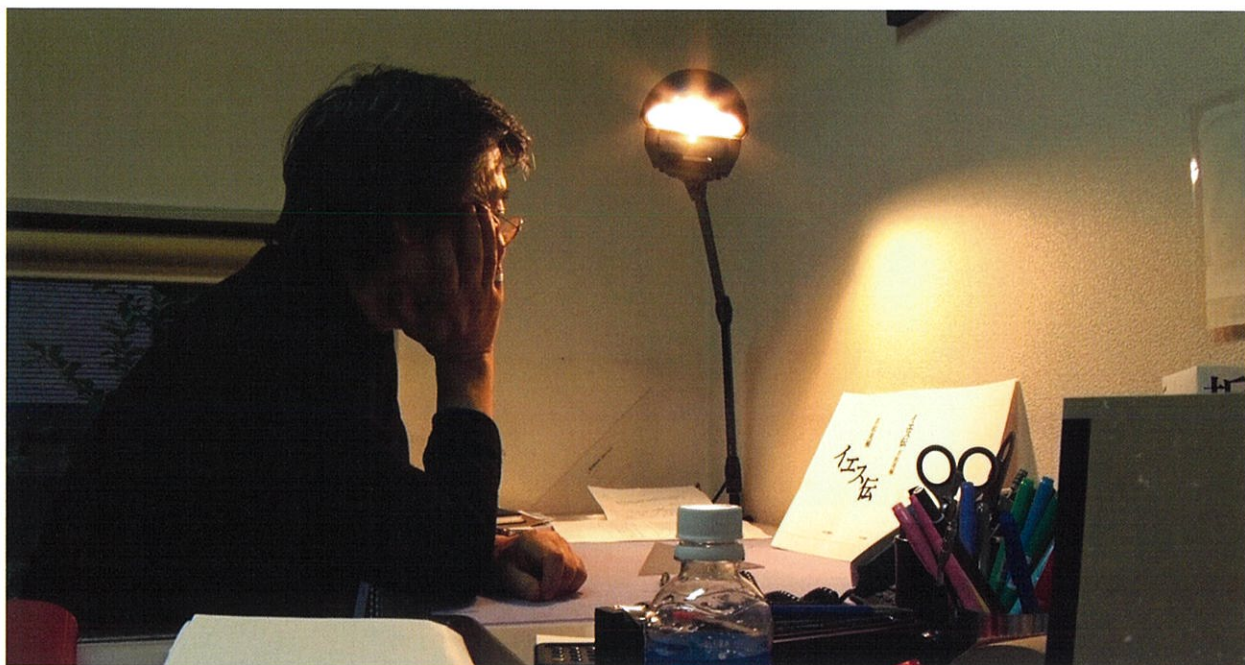




©2019『つつんで、ひらいて』製作委員会

1万5千冊をデザインした
装幀者・菊地信義と、
本をつくる人々の
ドキュメンタリー

監督・編集・撮影…広瀬奈々子
音楽…biobipatara エンディング曲…鈴木常吉
製作…バンダイナムコエンターテインメント、AOI Pro.
マジックアワー、エネット、分福
企画・制作…分福 上映時間94分

つつんで、 ひらいて

第20回東京フィルメックス
コンペティション部門スペシャル・メンション受賞
第24回釜山国際映画祭
ワイド・アングル部門招待
第52回ライプツィヒ
国際ドキュメンタリー・アニメーション映画祭
インターナショナルプログラム部門招待

3.26 [Sun] 10:30 / 13:30 各回上映後、トークあり
やまぎん県民ホール 3F スタジオ2

【監督来場】



ワークショップ 子どもの映画工房

3.26 [Sun] 10:00-12:00 3F練習室3

コマ撮りで自分が登場する
アニメーションをつくって
みんなで見よう！

▶お申し込み方法など、詳細は裏面へ

【主催】認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 phone: 023-666-4480



文字の書かれた紙を、くしゃくしゃにして、ひろげる。丁寧に平らにしてコピーをとる。満げに眺める。男がなにをしているのか。わたしたちはまだわからない。

彼の名は菊地信義。装幀家である。菊地はいま、新しい本の表紙にふさわしい文字を創っている。くしゃくしゃにして、ひろげ、コピーすることで、文字はかすれ、独特の風合いを醸し出す。これもブックデザインにおいては、とても重要な仕事のひとつだ。

見つめるのは、菊地の指先から生まれる、製本にいたるまでの「ものづくり」の過程。そこから「本を装幀する」行為の一部始終が具体的に浮き彫りになる。それと同時に、菊地の担当編集者や弟子のデザイナーらの証言が、頑固に一途に、本そのものと向き合い、変わりゆく時代の中で変わらない仕事を掴みとる人間の姿を映し出す。

「デザインは設計ではなく『こさえること』」と語る菊地信義。銀座の事務所、そして鎌倉の自宅。彼の行動、言動を慈しむように追いかけていく。

菊地信義 装幀者

1943年東京生まれ。1965年多摩美術大学デザイン科中退。広告代理店などを経て、1977年装幀者として独立。以来、中上健次や古井由吉、俵万智、金原ひとみなど1万5000冊以上もの書籍の装幀を担当する。著書に『菊地信義の装幀』『装幀の余白から』他。1984年、第22回藤村記念歴程賞受賞。1988年、第19回講談社出版文化賞ブックデザイン賞受賞。2022年3月28日、逝去。



広瀬奈々子 監督・編集・撮影

1987年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学映像学科卒業後、2011年より制作集団分福に所属。是枝裕和監督、西川美和監督のもとで監督助手を務め、『そして父になる』『ゴーイング・マイ・ホーム』『海街diary』『海よりもまだ深く』『永い言い訳』に参加。2019年、劇映画『夜明け』で映画監督デビューを果たした。イギリス・ボラ監督とともに、山形国際ドキュメンタリー映画祭2021アジア千波万波部門の審査員を務めた。

映画上映+トーク『つつんで、ひらいて』

[日時]3月26日[日] 10:30 / 13:30

※各回定員50名

[会場]やまぎん県民ホール3F スタジオ2

[料金]一般前売 1,000円／当日1,200円

小中高生前売 800円／当日1,000円(小学生未満無料)



前売り券ご予約／ワークショップの参加お申込みは、各QRコードよりフォームにアクセスしていただくか、お電話(山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局 023-666-4480)で承ります。

子どもの映画工房

デジタルカメラを使って、自分が登場するコマ撮りアニメーションをつくってみよう！ 完成作品をみんなで見よう！



前回の作品はこちら(Youtube)



ワークショップ 子どもの映画工房

[会場]やまぎん県民ホール3F 練習室3

[料金]500円

[定員]小学生10名

(要申込／先着順)

[申込締切]3月20日[月]



やまぎん県民ホールオープンハウス2023

<https://yamagata-bunka.jp>



お車でご来場の方は、やまぎん県民ホール隣接の「県民べにばな駐車場」などをご利用ください(駐車料金の割引はありません)。



山形国際ドキュメンタリー映画祭2023

YAMAGATA International Documentary Film Festival 2023

10月5日[木]～12日[木]

www.yidff.jp